

國際法外交雜誌

第115卷 第1号

2016年5月

論 説

國際不法行為訴訟によるグローバル・ガバナンス

——米国の外国人不法行為法を素材として—— 同志社大学教授 高 杉 直 1

多国籍企業による「不法行為」に対して民事的
救済を求める訴えの國際裁判管轄と人権の保護

——EUにおける状況を中心として—— 京都女子大学准教授 的 場 朝 子 20

國際法違反の不法行為と國際私法

首都大学東京准教授 種 村 佑 介 46

The Future of the HCCH in the Asia Pacific Region

Secretary General, Hague Conference on Private International Law Christophe BERNASCONI 65

紹 介

三牧聖子 著「戦争違法化運動の時代

——「危機の20年」のアメリカ國際關係思想——」
東京外国語大学教授 篠 田 英 朗 89

吉川 元 著「國際平和とは何か

——人間の安全を脅かす平和秩序の逆説」
南山大学教授 山 田 哲 也 94

会 報

計 報 99

國際法外交雜誌

第115卷 第2号

2016年8月

論 說

- 國際法における分離独立
——領域主権へのその挑戦をどう受け止めるべきか—— 駒澤大学教授 王 志 安 1
- 国連組織における法秩序の展開 岡山大学教授 黒 神 直 純 27
- 國際的武力紛争の発生条件再考
——戦闘員資格の機能—— 防衛大学校准教授 黒 崎 将 広 54
- 欧州統一特許裁判所と我が国の國際私法
——判決の承認・執行の観点から——
一般財団法人知的財産研究教育財団知的財産研究所在外研究員 山 口 敦 子 81

紹 介

- Hugh Thirlway, *The Sources of International Law*
九州大学大学院博士課程 小 栗 寛 史 108

会 報

- 一般財団法人國際法学会
2015年度第1回(通算第10回)評議員会(定時)～
2015年度第2回(通算第11回)評議員会(臨時)(電磁式) 113
- 一般財団法人國際法学会
2015年度第1回(通算第18回)理事会(通常)～
2015年度第5回(通算第22回)理事会(臨時) 114

- 計 報 118

國際法外交雜誌

第115卷 第3号

2016年11月

論 說

- 知的財産権条約と人権条約
——条約の自己完結性と補完性—— 政策研究大学院大学名誉教授 山 根 裕 子 1
- 国際法と国際経済法の関係
——断片化と統合をめぐるポリティクス—— 西南学院大学准教授 小 寺 智 史 27
- 法適用通則法における本国法主義の意義 岡山大学教授 佐 野 寛 46

会 報

- 国際法学会2016年度(第119年次)研究大会 68
- 一般財団法人国際法学会
2016年度第1回(通算第12回)評議員会(臨時) ~
2016年度第3回(通算第14回)評議員会(臨時) 110
- 一般財団法人国際法学会
2016年度第1回(通算第23回)理事会~
2016年度第3回(通算第25回)理事会 111
- 個別報告公募のお知らせ 114
- パネル公募のお知らせ 115
- 主要文献目録における外国語文献の収録について 117
- 第3回小田滋賞選考経過および授賞式の開催 118
- 第49回安達峰一郎記念賞 120

- 訃 報 121

國際法外交雜誌

第115卷 第4号

2017年1月

論 説

- 宇宙資産に対するサイバー攻撃に
適用可能な国際法の検討 慶應義塾大学教授 青木節子 1
- 集団的自衛権の法的構造
——ニカラグア事件判決の再検討を中心に—— 東京大学教授 森 肇 志 25
- 抵触法における準拠法選択アプローチと
外国国家行為承認アプローチとの交錯
——財産法分野における幾つかの事例を題材に—— 上智大学教授 森下哲朗 50

資 料

- 国連国際法委員会第68会期の審議概要 国際法委員会研究会 64
- 国際法協会第77回(2016年)ヨハネスブルグ(南アフリカ)大会報告 100
- 解説・日本の国際法判例(11)——2013(平成25)年——
「日本の国際法判例」研究会(第2期) 111

紹 介

- 中島 啓 著『国際裁判の証拠法論』 岡山大学教授 李 禎 之 153

会 報

- 計 報 159

総 目 次

163